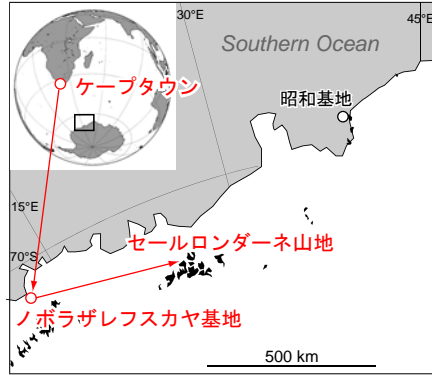
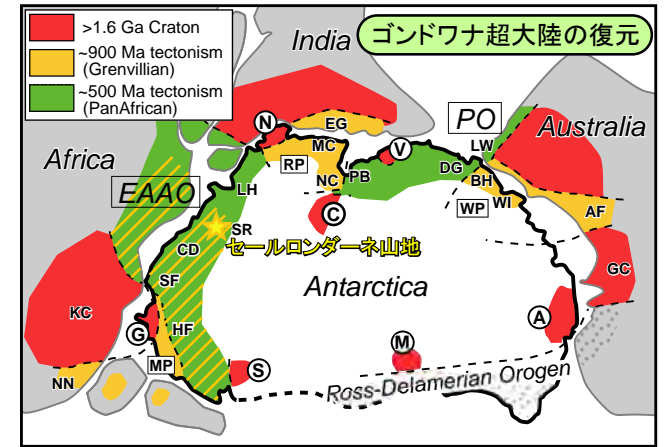


# 第49次観測計画：超大陸の成長・分裂機構とマントル進化過程の解明 (セールロンダーネ山地地質調査計画)

計画概要：昭和基地から西に約600km離れたセールロンダーネ山地において、49次・50次・51次の3カ年の夏期間に野外地質調査をおこなう。49次隊ではケープタウンよりDROMLANを利用して空路で現地入りし、スノーモービルとテントを用いて野外調査を実施する。



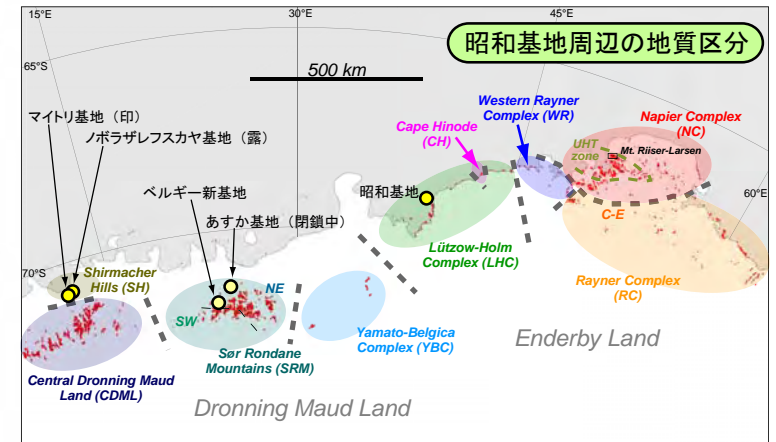
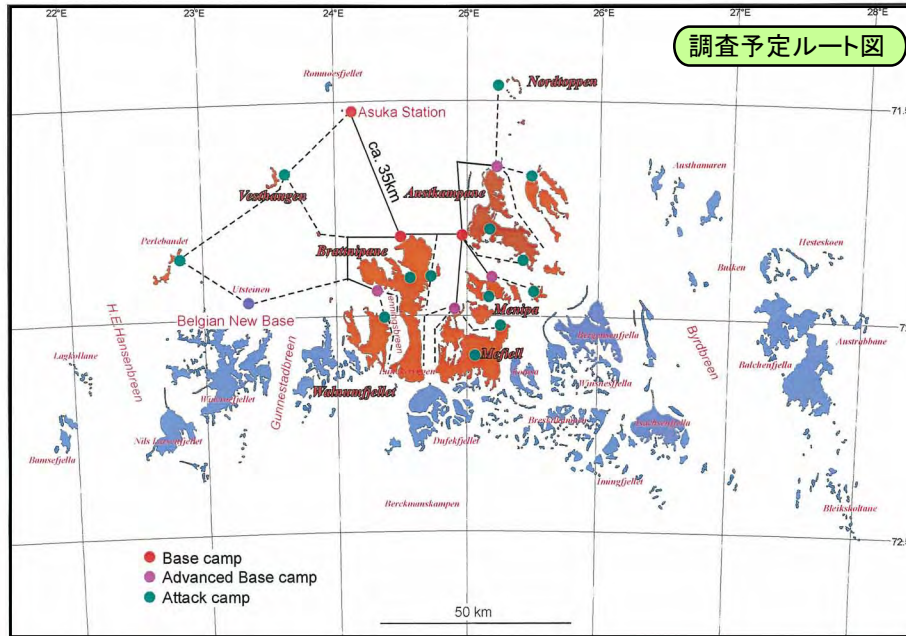
大陸成長と超大陸の形成、それに伴う変成作用・火成活動・流体活動を統合的に理解するためのモデルフィールドであり、東西ゴンドワナ縫合イベントの鍵となる地域



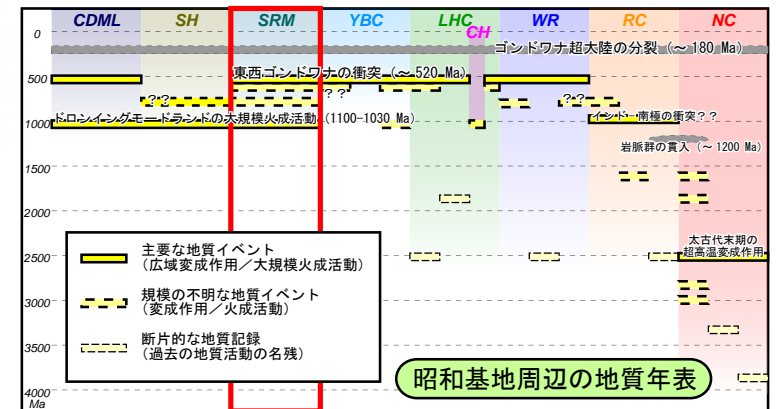
## 観測テーマ

### ◆大陸成長と超大陸形成機構の解明

- ・ 原岩構成と大陸成長機構
- ・ 変形構造要素と構造運動史
- ・ 変成温度圧力履歴の解析
- ・ 超高温変成作用の痕跡
- ・ 変成流体活動の検証



1984~1991年 (JARE-25 ~ 32) にかけて、セールロンダーネ山地地域での地学調査がおこなわれ、基本的な地質データの報告と全域を網羅する地質図が作成されている。



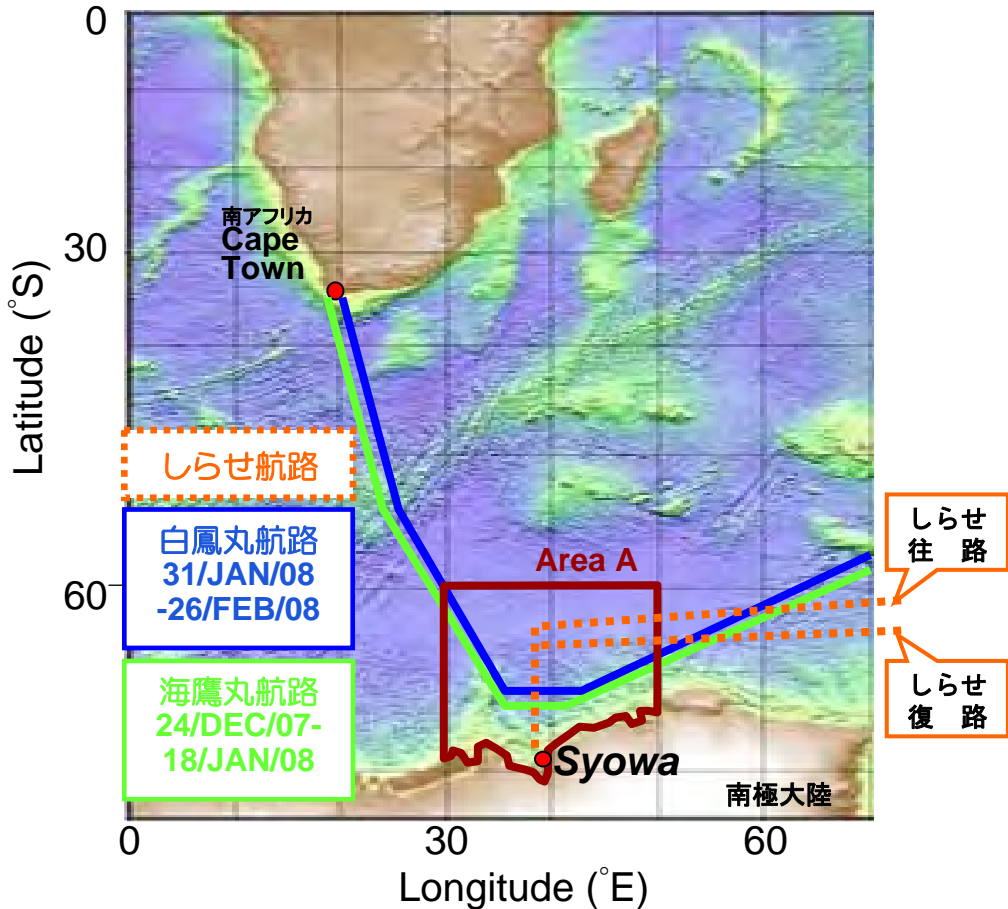
# 第49次観測計画：極域における宙空-大気-海洋の相互作用からとらえる地球環境システムの研究 極域の大気圏-海洋圏結合研究<平成19年度夏期の多船時系列観測>

海洋生物由来のDMS（硫化ジメチル類）が地球の気温を3.8℃下げているという試算がある。しかし、定着氷水域からの影響は考慮されていないため、南極のプランクトンの生産活動が活発な夏期に海水域の観測を行う。48次観測では海水域の観測を実施した。49次観測では海水縁外側の開放水面において以下の観測を実施する。

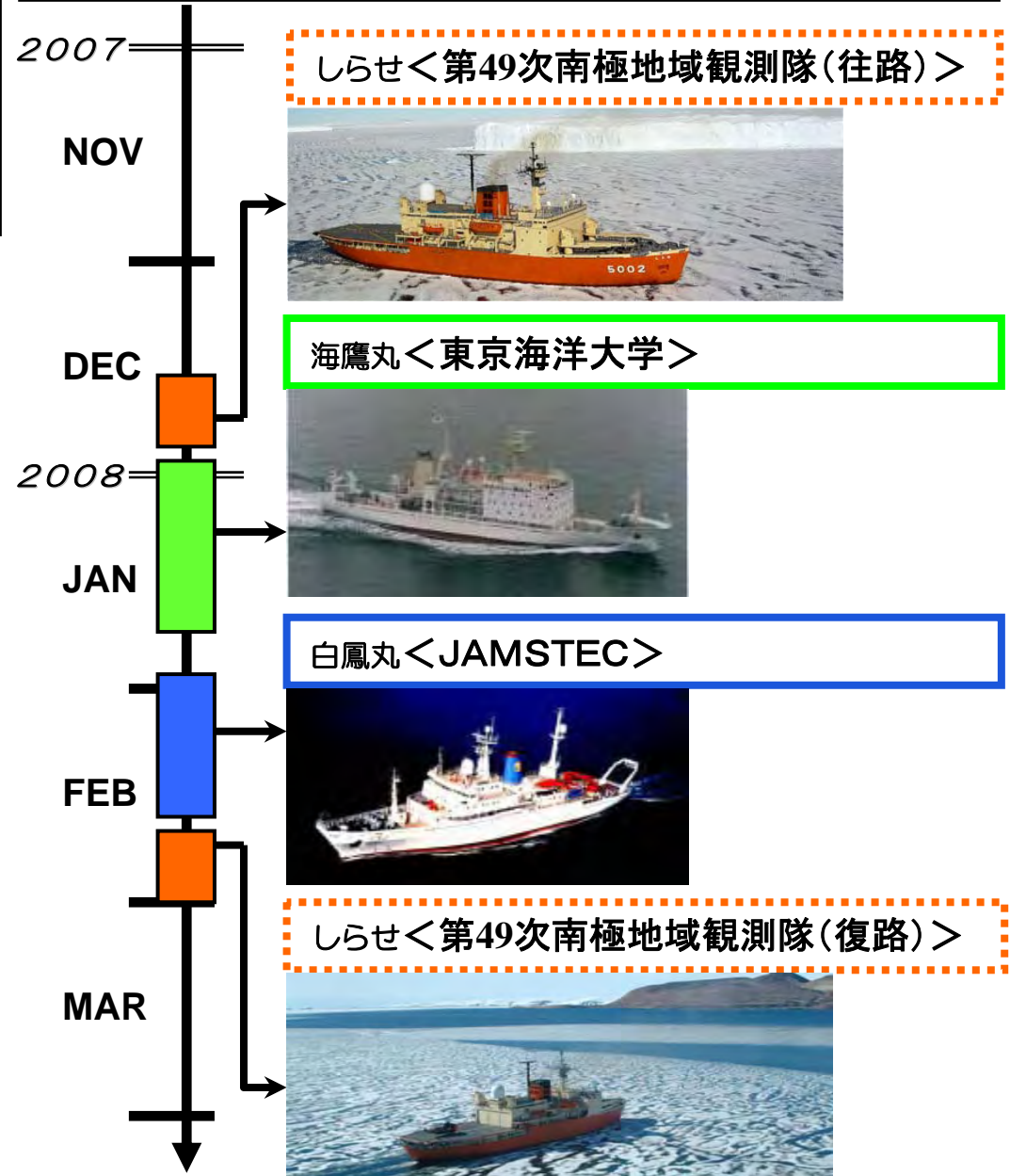
- ・海洋中におけるDMSの生成・分解過程の時系列観測
- ・海洋中における二酸化炭素濃度の時空間変動の時系列観測

海洋域全体の影響を試算し海洋生物が気候変化に与える影響を評価する。

気候変動の将来予測の精度向上に貢献



3船舶による連携観測 ▶ 観測が困難な海域での長期観測の実現



### 第49次南極地域観測隊 設営部門実施計画

実施計画概要	<p>① 夏期ハレーションとして、見晴らし岩ホップ小屋建設、50kℓタンク移設、100kℓタンク設置、燃料移送配管コメリンク交換および燃料タンク配管と高架架台設置など、燃料設備工事を行う。</p> <p>② 見晴らし岩～昭和基地間の道路整備（第1ダム堤防）、ヘリポート待機小屋新設、コンテナヤード整地などを行う。</p> <p>③ 昭和基地クリーンアップ4か年計画の最終年度として48次隊で集積した廃棄物を持ち帰る。また、越冬業務として、生活諸設備の運用の他に、沿岸地域のクリーンアップを行う。</p> <p>④ 51次隊からの新船就航によるコンテナ輸送に対応するため、コンテナ用橋、牽引車両、トラック、フォークリフトなどを導入する。</p> <p>⑤ 50次隊の輸送縮小を考慮して備蓄燃料・フロンガス・ドラム缶、廃棄物用コンテナ等の事前輸送を行う。</p> <p>⑥ 修理した風力発電機セルを設置し、運転を再開する。</p>
--------	---

部門別	主な作業	主な搬入物品	隊員数		備考
			越冬	夏	
輸送	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 12ftコンテナの荷積み・氷上輸送・陸揚げ輸送試験</li> <li>・ 荷役管理システムの試用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 12ft ライコンテナ</li> <li>・ 荷役管理システム用ソフト</li> </ul>		1	
機械	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見晴らし岩50kℓタンク2基の移設およびホップ小屋内配管</li> <li>・ 100kℓ金属タンク設置</li> <li>・ 10kW風力発電機セル設置および運用再開</li> <li>・ 管理棟給水・暖房配管更新</li> <li>・ 発電棟内煙道更新</li> <li>・ SM60雪上車エンジン載せ替え</li> <li>・ 見晴らし岩100kℓ貯油タンクレイン溶接（No. 3, 4, 5）</li> <li>・ 小型野菜栽培装置更新</li> <li>・ 見晴らし岩燃料タンク配管および高架架台工事</li> <li>・ 非常用倉庫への給電線敷設</li> <li>・ 暖房機および屋外タンクの更新（衛星受信棟、情報処理棟、気象棟）</li> <li>・ 第1夏宿温水便座改修</li> <li>・ 第2夏期隊員宿舎までの給水・排水管更新・汚水処理装置移設</li> <li>・ 300kVA 1号発電機交換</li> <li>・ 300kVA発電機（No. 1オーバーホール）</li> <li>・ 故障警報盤（通信室・防火区画B）</li> <li>・ 燃料移送配管コメリンク交換</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 氷上輸送用雪上車（SM60） 1台</li> <li>・ 4tクレーン付きトラック 1台</li> <li>・ コンテナ用トラック 1台</li> <li>・ コンテナ用フォークリフト 1台</li> <li>・ 100kℓ金属タンク 1台</li> <li>・ 電気・配管設備 1式</li> <li>・ コンテナ橋 1台</li> <li>・ 風力発電機セル</li> <li>・ 故障警報盤 2基</li> <li>・ 小型野菜栽培装置</li> <li>・ 屋外灯油タンク 3基</li> <li>・ 燃料配管・高架架台 1式</li> <li>・ ヘリポート用フォークリフト 1台</li> <li>・ プレーカー 2台</li> <li>・ OH済みブリック（D41P6） 1台</li> </ul>	6	2	
燃料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昭和基地発電・暖房・車両用</li> <li>・ 50次隊対応備蓄用</li> <li>・ 50次隊対応ヘリコプター燃料</li> <li>・ 新燃料容器の運用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ W軽油 420kℓ</li> <li>・ JP-5 140kℓ</li> <li>・ 発電機用エンジン油 20ドラム</li> <li>・ 300ガロン容器入りW軽油 5台</li> <li>・ JET-A1 50ドラム（DROMLAN用）</li> </ul>			
建築・土木	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンテナヤード整備（整地、コンテナ架台枕木）</li> <li>・ 迷子沢～昭和基地間道路整備（第1ダム堤防）</li> <li>・ ヘリポート待機小屋兼管制室新設</li> <li>・ 見晴らし岩燃料タンク高架配管基礎</li> <li>・ 100kℓ、50kℓ燃料タンク基礎</li> <li>・ 燃料移送ホップ小屋新設</li> <li>・ コンクリートミキサ更新（見晴らし岩）</li> <li>・ ヘリポート外周留め工事、塗装（H7-ク）</li> <li>・ 情報処理棟天窓および非常扉改修</li> <li>・ コンテナ荷受け場所の整地</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ セメント（1200缶）</li> <li>・ 道路補修部材</li> <li>・ 塗料</li> <li>・ コンテナヤード用材料</li> <li>・ コンクリートミキサ</li> <li>・ ヘルコンベアー</li> <li>・ ヘリポート待機小屋およびホップ小屋</li> <li>・ 情報処理棟天窓および非常扉改修部材</li> <li>・ 走行用パネル（大型フォークリフト用）</li> <li>・ 枕木</li> <li>・ S17建物用階段</li> <li>・ 49・50次隊用木材</li> </ul>		3	
通信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ HF送受信アンテナおよび送信機の更新</li> <li>・ 車両用通信機設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 車載用通信機</li> <li>・ HFアンテナ 1基</li> <li>・ 1kW 短波送信機 1台</li> </ul>	2		
医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療業務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品</li> </ul>	2		
食糧	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 越冬調理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 越冬食糧</li> <li>・ 予備食</li> </ul>	2		
環境保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夏期廃棄物処理、浄化槽の運用</li> <li>・ 越冬廃棄物処理、浄化槽の運用</li> <li>・ 焼却炉の更新</li> <li>・ 一斉清掃作業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大型リターナブルルット</li> <li>・ フレキシブルコンテナ</li> <li>・ スチールコンテナ</li> <li>・ 夏期隊員宿舎汚水処理装置改修部品</li> <li>・ 焼却炉</li> </ul>	1	1	
多目的アンテナ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大型アンテナおよびレドーム保守</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保守部品</li> </ul>	1		
LAN	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夏期隊員宿舎および昭和基地のLANの運用・保守</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保守部品</li> </ul>	1		
フィールドアシスタント 装備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 野外調査補助</li> <li>・ 装備品の運用・管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人装備</li> <li>・ 共同装備</li> </ul>	1	1	
庶務・情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公式文書の管理、各種事務手続き、隊長業務補佐</li> <li>・ 輸送業務、公報</li> </ul>		1	1	

## 昭和基地クリーンアップ4か年計画（4年次最終年）

国立極地研究所

### 1. 目的

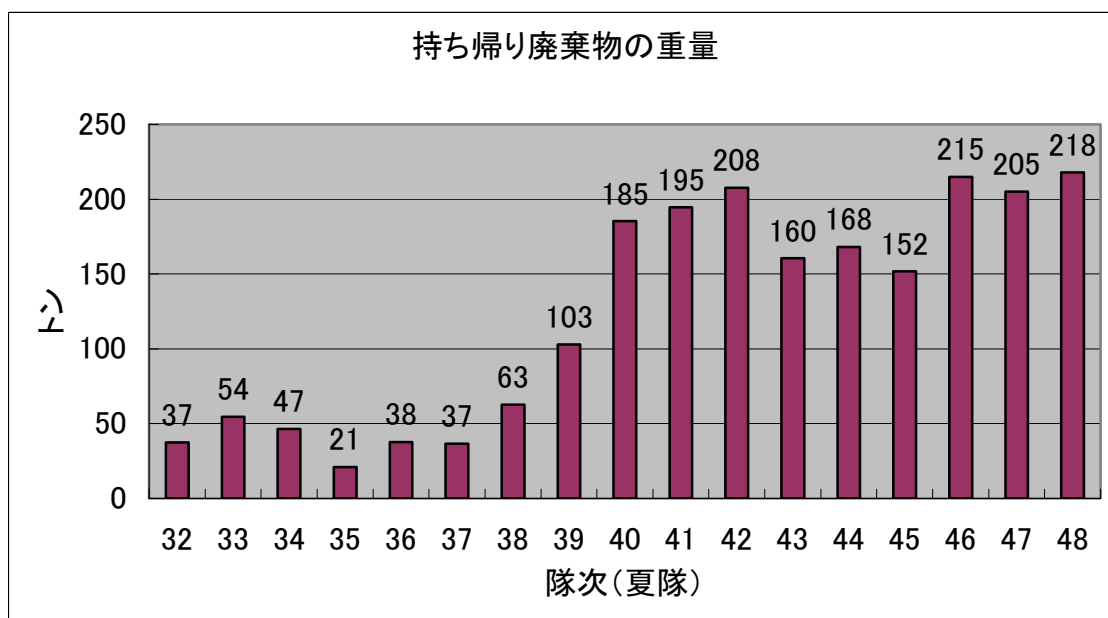
「しらせ」が退役する予定の第49次行動までに、昭和基地に残されている過去の廃棄物を持ち帰ることを主眼に計画が立案された。計画の内容は大きく3つから構成される。

- ① 残置廃棄物の持ち帰り
- ② 第1および第2夏期隊員宿舎の汚水処理
- ③ ブリザード等で屋外に飛散したゴミの一斉清掃

### 2. 48次隊の実績

#### ① 持ち帰り

当初計画した200トンを上回る218トンを持ち帰った。



#### ② 夏期隊員宿舎の汚水処理

第1夏期隊員宿舎汚水を水汲み沢付近に設置した汚水処理コンテナまで黒ポリ配管で移送したが、1月下旬以降気温が下がり、配管内が凍結した。また、処理装置の凝集剤の溶液攪拌がうまくできず十分な処理ができなかった。

#### ③ 一斉清掃

(48次隊)

第1回：1月14日 観測隊32名、「しらせ」乗組員14名で実施した。11倉庫南西側デポ棚50%撤去した。

第2回：2月2日 観測隊11名、「しらせ」乗組員11名で実施、西浦付近の飛散物を集積した。



一斉清掃で集積した廃棄物

### 3. 49次隊の計画

#### 3.1 持ち帰り年次計画

2004年12月に策定した持ち帰り計画は以下の通りであった。

第46次 (2004/05)	第47次 (2005/06)	第48次 (2006/07)	第49次 (2007/08)	合計(トン)
200	200	189	142	731

2004年計画策定時数量

建物等の解体および一斉清掃が予定より進捗したため、計画よりも大幅な持ち帰り数量となった。

49次隊では、232トンの持ち帰りを計画している。

第46次 (2004/05)	第47次 (2005/06)	第48次 (2006/07)	第49次 (2007/08)	合計(トン)
215	205	218	232	870

46～48次隊までの実績と49次隊の計画数量

#### 3.2 夏期隊員宿舎の汚水処理装置運用

48次隊で実施した汚水処理装置の稼働が不十分だったので、49次隊では、凝集剤の攪拌方法を国内で確実に訓練し、運用を再開する。また、第1夏期隊員宿舎から汚水処理コンテナまでの汚水および冷水配管を断熱配管で行い、凍結を防ぐ。

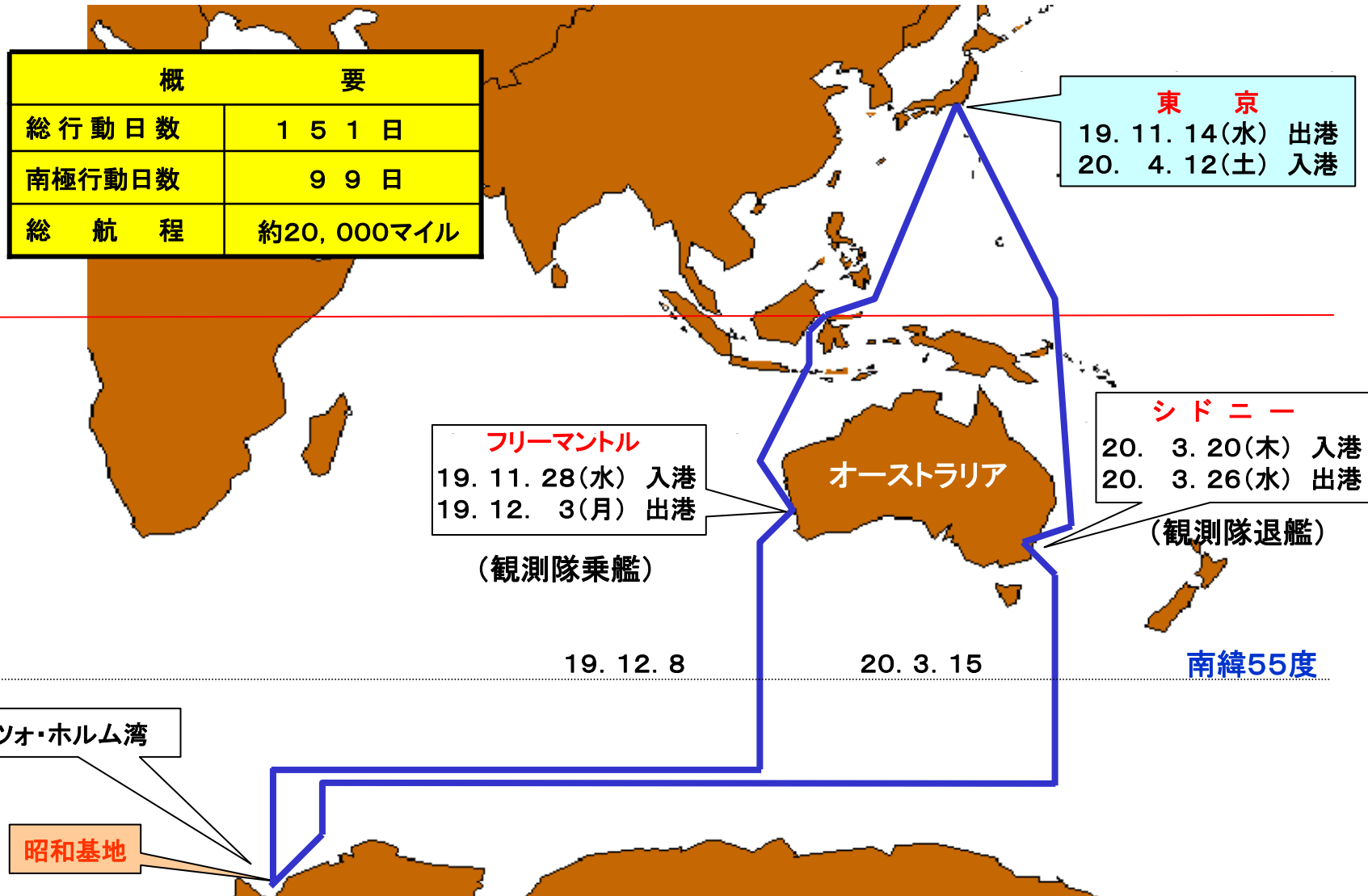
第一夏期隊員宿舎のウォッシュレット便座を宿舎開設後早期に取り替え使用できるようにする。

#### 3.3 東オングル島の一斉清掃

①夏期作業中に観測隊および「しらせ」乗組員の協力を得て、約2日間の大掃除を東オングル島全域に渡って実施する。

②清掃重点地区および清掃方法は、第49次環境保全隊員が計画する。

# 第49次南極地域観測「しらせ」行動計画



## 第49次南極地域観測隊の編成

区 分	部 門	隊員数	
越 冬 隊	副隊長(越冬隊長)	1名	
	定 常 観 測	電 離 層	1名
		気 象	5名
	研 究 観 測	重点プロジェクト研究観測	2名
		モニタリング研究観測	3名
	設 営	機 械	6名
		通 信	2名
		調 理	2名
		医 療	2名
		環 境 保 全	1名
設 営 一 般		4名	
越 冬 隊 計		29名	
夏 隊	隊長(夏隊長)	1名	
	副隊長(セールロンダーネ山地調査担当)	1名	
	副隊長(夏期設営担当)	1名	
	定 常 観 測	海 洋 物 理	1名
		海 洋 化 学	1名
		測 地	1名
	研 究 観 測	重点プロジェクト研究観測	1名
		一般プロジェクト研究観測	10名
		萌芽研究観測	2名
		モニタリング研究観測	3名
設 営	設 営 一 般	8名	
夏 隊 計		30名	
合 計		59名	

## 第49次南極地域観測隊員一覧

区分	既に決定した者	今回決定する者	隊員数
越冬隊	28人	1人	29人
夏 隊	27人	3人	30人
合計	55人	4人	59人

隊員の所属機関別内訳			
国立極地研究所	35名	民間企業	2名
行政機関	9名	独立行政法人	1名
国立大学法人等	10名	私立大学	2名

### ○越冬隊 ※は今回決定する者

区分	担当分野	ふりがな氏名	生年月日 (年齢)	所 属	本籍地	隊 員 歴 等	現 住 所	備 考
	副隊長 (兼越冬隊長)	うしお しゅうき 牛 尾 收 輝	S37.3.31 (45)	大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立極地研究所研究教育系	埼 玉 県	第31次越冬隊 第41次越冬隊 第44次夏隊	埼玉県富士見市	
定 常 観 測	電離層	ながはま のりお夫 長 濱 則 夫	S52.4.23 (30)	独立行政法人 情報通信研究機構	群 馬 県		東京都小金井市	
	気 象	よし み ひで し 吉 見 英 史	S37.6.22 (45)	気象庁観測部	兵 庫 県	第36次越冬隊	東京都三鷹市	
	”	うち だ ひろ こ子 内 田 洋 子	S47.12.23 (34)	気象庁観測部	東 京 都		埼玉県所沢市	
	”	もち づき たか し 望 月 隆 史	S49.6.13 (33)	気象庁観測部	山 梨 県		千葉県船橋市	
	”	いわ ぶら まさ み海 岩 渕 真 海	S52.4.8 (30)	気象庁観測部	宮 城 県		茨城県つくば市	
	”	みず の たい じ治 水 野 太 治	S52.12.14 (29)	気象庁観測部	愛 知 県		千葉県船橋市	
研究観測		おか だ まさ き樹 岡 田 雅 樹	S41.2.2 (41)	大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立極地研究所研究教育系	東 京 都		東京都葛飾区	
		あお やま ゆう いち一 青 山 雄 一	S45.5.11 (37)	大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立極地研究所研究教育系	長 野 県	第36次越冬隊	埼玉県所沢市	
		あさ の ひとし比 浅 野 比	S51.4.10 (31)	山口東京理科大学基礎工学部	岐 阜 県		山口県山陽小野田市	
		※あお やま とも き樹 青 山 朋 樹	S56.11.2 (25)	(株)堀場製作所	岐 阜 県		京都府京都市	
		すが き ひで ひこ彦 鈴 木 秀 彦	S57.12.1 (24)	大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立極地研究所研究教育系	埼 玉 県		神奈川県藤沢市	



区分	担当分野	ふりがな 氏名	生年月日 (年齢)	所 属	本籍地	隊 員 歴 等	現 住 所	備 考
設	機 械	おか やま ひで き 岡 山 英 樹	S45.11.28 (36)	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立極地研究所事業部 (株)関電工中央支店)	埼 玉 県		埼玉県所沢市	
	"	いい ずみ とも やす 飯 泉 誠 康	S46.8.26 (36)	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立極地研究所事業部 (いすゞ自動車(株)栃木工場)	東 京 都	第45次越冬隊	栃木県小山市	
	"	たか さわ なお や 高 澤 直 也	S47.3.19 (35)	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立極地研究所事業部 (元(株)太平エンジニアリング東北支店)	宮 城 県	第48次夏隊	宮城県仙台市	
	"	あま さき けい じ 尼 寄 慶 次	S49.4.13 (33)	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立極地研究所事業部 (ヤンマー(株)特機事業本部)	兵 庫 県		兵庫県明石市	
	"	ぐん じ まさ お 軍 司 将 男	S51.5.19 (31)	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立極地研究所事業部 (株)日立製作所情報・通信グループ)	茨 城 県		茨城県日立市	
	"	ふ さわ まさ ひこ 麩 澤 正 彦	S56.3.17 (26)	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立極地研究所事業部 (株)大原鉄工所生産統括部)	新 潟 県		新潟県三条市	
	通 信	の ぐら てつ や 野 口 徹 也	S39.10.29 (43)	総務省関東総合通信局	愛 知 県		愛知県名古屋市	
	"	こん どう たくみ 近 藤 巧	S40.7.29 (42)	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立極地研究所事業部 (株)エフエム滋賀企画管理部)	大 阪 府	第41次越冬隊	滋賀県大津市	
	調 理	き さき きく お 佐々木 菊 雄	S28.8.12 (54)	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立極地研究所事業部 (株)パストラル)	埼 玉 県	第45次越冬隊	埼玉県所沢市	
	"	あお ほり ちから 青 堀 力	S50.4.15 (32)	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立極地研究所事業部 (元(株)テイクアンドギブ・ニーズ)	鹿 児 島 県		福岡県前原市	
営	医 療	はし もと のぶ こ 橋 本 信 子	S46.4.22 (36)	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立極地研究所事業部 (北里大学病院形成外科)	東 京 都		東京都西多摩郡日の出町	
	"	とう やま よう すけ 當 山 陽 介	S48.7.29 (34)	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立極地研究所事業部 (東京都保険医療公社荏原病院)	群 馬 県		東京都大田区	
	環境保全	あか だ ゆき ひさ 赤 田 幸 久	S42.11.25 (39)	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立極地研究所事業部 (有明登山案内人組合)	長 野 県		長野県北安曇郡池田町	
	設営一般 (多目的 大型/テテ)	くま がい ひで あき 熊 谷 英 明	S53.9.22 (29)	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立極地研究所事業部 (NECネットワークスエスアイ(株)テレネットワークス事業本部)	岩 手 県		神奈川県川崎市	
	" (LAN・インターネット)	いな ば みつ ひさ 稲 葉 充 久	S44.8.1 (38)	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立極地研究所事業部 (KDDI(株)NSL事業本部)	神 奈 川 県		東京都三鷹市	
	" (装備・フィールド・ アシスタント)	いし きわ あつし 石 際 淳	S35.8.6 (47)	国立大学法人 岐阜大学企画部	岐 阜 県		岐阜県岐阜市	
	" (庶 務)	かね こ そういちろう 金 子 宗一郎	S47.6.13 (35)	大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立極地研究所事業部	佐 賀 県		東京都国分寺市	

○夏隊 ※は今回決定する者

区分	担当分野	ふりがな氏名	生年月日 (年齢)	所 属	本籍地	隊 員 歴 等	現 住 所	備 考
	隊長 (兼夏隊長)	いむら きたし 伊村 智	S35.5.9 (47)	大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立極地研究所研究教育系	東京都	第36次越冬隊 第42次夏隊 第45次越冬隊	東京都中野区	
	副隊長 (セーリング・礼山地調査担当)	おさない やすひと 小山内 康人	S31.11.26 (50)	国立大学法人九州大学 大学院比較社会文化研究院	北海道	第28次夏隊 第31次夏隊 第39次夏隊	福岡県福岡市	
	副隊長 (夏期設営担当)	かつ た ゆたか 勝田 豊	S31.9.18 (51)	大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立極地研究所事業部	東京都	第21次越冬隊、第31次越冬隊 第43次夏隊、第47次夏隊 平成15年度交換科学者	埼玉県川越市	
定 常 観 測	海洋物理	たかえす つよし 高江洲 剛	S39.5.21 (43)	海上保安庁海洋情報部	沖縄県		千葉県印西市	
	海洋化学	すぎもと あや 杉本 綾	S53.3.28 (29)	海上保安庁海洋情報部	新潟県	第48次夏隊	神奈川県横浜市	
	測 地	たか ぼたけ よし ゆき 高畑 嘉之	S42.11.9 (40)	国土地理院測地部	神奈川県		茨城県つくば市	
研究観測		えのもと ひろ ゆき 榎本 浩之	S32.10.4 (50)	国立大学法人 北見工業大学工学部	北海道	第34次越冬隊	北海道北見市	
		とよしま つよ し 豊島 剛志	S34.2.8 (48)	国立大学法人 新潟大学大学院自然科学研究科	新潟県	第32次夏隊 第39次夏隊	新潟県新潟市	
		たか かし てつ や 高橋 哲也	S34.8.4 (48)	国立大学法人 島根大学教育学部	兵庫県		島根県松江市	
		やまもと たつ ゆき 山本 達之	S37.7.5 (45)	国立大学法人 島根大学生物資源科学部	島根県		島根県松江市	
		く どう さかえ 工藤 栄	S38.1.6 (44)	大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立極地研究所研究教育系	東京都	第40次越冬隊、第43次夏隊 第44次夏隊、第45次越冬隊 第48次夏隊	東京都東久留米市	
		ふじ た しゅう じ 藤田 秀二	S39.1.23 (43)	大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立極地研究所研究教育系	北海道	第29次越冬隊 第37次越冬隊 第47次夏隊	東京都北区	
		もりもと しん じ 森本 真司	S41.9.26 (41)	大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立極地研究所研究教育系	埼玉県	第36次越冬隊	東京都中野区	
		つつみ まさ き 堤 雅基	S42.3.11 (40)	大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立極地研究所研究教育系	香川県	第40次越冬隊	埼玉県朝霞市	
		と だ しげる 戸田 茂	S42.7.22 (40)	国立大学法人 愛知教育大学教育学部	愛知県	第41次夏隊 第43次夏隊	愛知県蒲郡市	
		ば ば そうたろう 馬場 壯太郎	S43.7.30 (39)	国立大学法人 琉球大学教育学部	福岡県	平成13年度外国共同観測	沖縄県浦添市	
	すぎ やま しん 杉山 慎	S44.3.5 (38)	国立大学法人 北海道大学低温科学研究所	愛知県		北海道札幌市		

区分	担当分野	ふりがな	生年月日 (年齢)	所 属	本籍地	隊 員 歴 等	現 住 所	備 考
研究観測		ほか だ とも かず 外 田 智 千	S45.7.31 (37)	大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立極地研究所研究教育系	東 京 都	第38次隊夏隊同行者 第39次隊夏隊同行者	東京都板橋区	
		お が わ ま り 小 川 麻 里	S46.7.18 (36)	安田女子大学文学部	広 島 県		広島県広島市	
		なか の のぶ ひこ 中 野 伸 彦	S52.7.22 (30)	国立大学法人九州大学 比較文化研究院	兵 庫 県		福岡県福岡市	
		い い だ たか ひろ 飯 田 高 大	S54.1.3 (28)	大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立極地研究所研究教育系	東 京 都		東京都葛飾区	
		※むら かみ やす ゆき 村 上 康 幸	S58.5.23 (24)	海洋電子(株)	福 岡 県	第47次夏隊	埼玉県川越市	
設 営	設営一般 (建築・土木)	たか だ かず ぞう ※高 田 一 三	S33.2.18 (49)	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立極地研究所事業部 (株)北陸産業	青 森 県	第48次夏隊	東京都板橋区	
	〃	い だ ひろし 井 田 浩	S43.7.31 (39)	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立極地研究所事業部 (飛島建設(株)関東土木支店)	東 京 都		千葉県八千代市	
	〃	※き むら なお ゆき 木 村 直 之	S48.9.4 (34)	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立極地研究所事業部 (鹿島道路(株)機械センター)	京 都 府		埼玉県北葛飾郡栗橋町	
	設営一般 (機 械)	はやし ぼら かつ み 林 原 勝 美	S30.12.30 (51)	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立極地研究所事業部 (office LIN)	兵 庫 県	第25次夏隊、第27次越冬隊 第32次越冬隊、第40次夏隊 第41次夏隊	兵庫県姫路市	
	〃	たに ぐち かず ゆき 谷 口 和 幸	S52.10.21 (30)	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立極地研究所事業部 (いすゞ自動車(株)藤沢工場)	三 重 県		神奈川県藤沢市	
	〃 (環境保全)	なか むら しん いち 中 村 伸 一	S53.5.8 (29)	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立極地研究所事業部 (恒栄電設(株)プラントエンジニアリング部)	埼 玉 県		埼玉県鳩ヶ谷市	
	〃 (装備・フィールド アシスタント)	あ べ みき お 阿 部 幹 雄	S28.5.9 (54)	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立極地研究所事業部 (契約記者)	愛 媛 県		北海道札幌市	
	〃 (庶 務)	みなみ やま やす ゆき 南 山 泰 之	S58.1.6 (24)	大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立極地研究所情報図書室	栃 木 県		東京都板橋区	

## 第49次観測隊同行者

平成19年11月13日現在

### 1. 国内研究者・大学院学生等

区分	ふりがな氏名	生年月日 (年齢)	所属	隊員歴等	本籍	現住所	同行目的	備考
報道関係者	かぬかしとしかず 鹿糠敏和	S54. 8. 2 (28)	(株)岩手日報社編集局		岩手県	岩手県盛岡市	南極観測隊の動向や研究の内容、南極の自然や動物などについて取材する。	【決定済】
行政	さいとうゆうすけ 齋藤佑介	S53. 1. 28 (29)	環境省地球環境局		山形県	神奈川県横浜市	南極地域観測活動実態調査、南極地域自然環境調査、南極地域環境資質調査、南極地域環境モニタリング技術指針作成に向けた調査、査察実施に向けた南極条約協議国会議チェックリストの試用	
大学院学生	たなべゆきこ 田邊優貴子	S53. 12. 13 (28)	総合研究大学院大学複合科学研究科		青森県	東京都板橋区	南極域生態系における藻類の紫外線・強光に対する適応の研究	(現場指導) 工藤栄夏隊員(国立極地研究所准教授)
大学院学生	つじもとめぐむ 辻本恵	S52. 7. 24 (30)	総合研究大学院大学複合科学研究科		東京都	埼玉県所沢市	南極における生物学的攪乱に関する研究	(現場指導) 工藤栄夏隊員(国立極地研究所准教授)
大学院学生	あだちたつろう 足立達朗	S56. 12. 18 (25)	総合研究大学院大学複合科学研究科		神奈川県	千葉県印旛郡栄町	東南極セルロンガ-ネ山地を形成する岩石の微細組織の解析から、同地域における東西コ-ントラの会合と分裂の履歴を解明する	(現場指導) 外田智千夏隊員(国立極地研究所助教)

### 2. 外国からの研究者等(交換科学者)

区分	氏名	生年月日 (年齢)	所属	隊員歴等	同行目的	備考
アイスパイロット	Gerard Michael O'Doherty	1960. 8. 12 (47)	P&O Maritime Service		「オーロラ・オーストラリス」による第50次航海に備えた、船長予定者のリュツォホルム湾氷状事前調査	
日-ス共同 トラバ-ス観測	Anders Torbjörn Karlin	1962. 5. 20 (45)	ストックホルム大学		日本-スウェーデン共同トラバ-ス観測	大学院学生
日-ス共同 トラバ-ス観測	Ivar Andersson	1974. 2. 4 (33)	スウェーデン王立工科大学		日本-スウェーデン共同トラバ-ス観測	測量技師

## 平成19年度外国共同観測派遣の概要

○外国共同観測（英国・シグニー島基地）

平成19年11月13日現在

専門分野	ふりがな 氏名	生年月日 (年齢)	所属	隊経験	外国基地 派遣歴	現住所	本籍地	備考
動物生態学	たか はし あき のり 高 橋 晃 周	S48. 2. 13 (34)	大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立極地研究所 (准教授)	第40次夏隊同行者	平成18年度交換科学者 (韓国・セジョン基地)	東京都板橋区	京都府	
動物生態学	わた なべ しん いち 渡 辺 伸 一	S50. 12. 25 (31)	東京大学海洋研究所 海洋科学国際共同研究センター (リサーチフェロー)			神奈川県川崎市	神奈川県	

課 題 環境変動とペンギン類の捕食動態に関する研究

目 的 シグニー島で繁殖するアデリーペンギン・ヒゲペンギン・ジェンツーペンギン・ジョージアキバナウの捕食動態を、動物装着型の各種データロガーを用いて調査する。GPS/深度データロガーを用いて、ペンギンの水平的な位置情報と鉛直的な深度情報を同時に取得し、採餌行動を3次元的に明らかにする。加速度データロガーと嘴の角度をモニターするデータロガーによりペンギンの採餌効率を明らかにする。加速度データロガー・カメラロガーにより集団での潜水行動や餌生物の鉛直分布について明らかにする。

期 間 平成19年11月26日～平成20年3月30日（予定）

## 平成19年度交換科学者派遣の概要

○交換科学者（英国：ロゼラ基地）

平成19年11月13日現在

専門分野	ふり 氏 がな 名	生年月日 (年齢)	所 属	隊 経 験	外国基地派遣歴	現住所	本籍地
植物病理学 菌学	とう 東 じょう 條 もと 元 あき 昭	S40.2.15 (42)	大阪府立大学 大学院生命環境科学研究科 (准教授)		平成12年度外国共同観測 (エスクデロ基地・チリ)	大阪府和泉市	大阪府

課題 南極ロゼラ島に生息する植物寄生性菌類の同定

目的 植物寄生性菌類は野生植物の生存に影響を及ぼしているが、南極域におけるこれらの菌類の調査例は少なく、その影響はほとんど明らかでない。この観測では、植物寄生性の卵菌類を中心にその種構成と分布密度を調べる。これにより南極域の野生植物の生存に及ぼす植物寄生性菌類の影響を評価するための基礎資料を得ることができる。